



と き: 10月7日(土)・8日(日)
9:30～16:00《入場無料・雨天開催》
ところ: 美術館 アートコア、創作工房、ガラス工房

陶磁器や木工、ガラス、金工、アクセサリなどさまざまな分野の作り手が店出し、個性豊かな手作りの品々を販売します。実演やワークショップも開催し、森のキッチンでは創作料理が味わえます。ゆったりと秋の森でモノづくりの魅力に触れてください。

クラフトの部 68店、森のキッチン(食)11店(予定)

▶シャトルバスの運行情報やイベントの詳細はホームページをご覧ください!

創作工房
新薪窯「森の窯」誕生!



経年劣化で閉鎖していた薪窯ですが、クラウドファンディングで目標金額を超える寄付金をいただき、この夏、立派な新窯に生まれ変わりました!
多くのご支援をいただき、ありがとうございました。

<「森の窯」窯炊き日程>
10月25日(水)～29日(日)
令和6年1月24日(水)～28日(日)
◎見学可能(お問合せ:創作工房 TEL.0776-73-7802)
※都合により変更となる場合があります。

森のクラフト体験講座

※小学生以上対象(小学生以下は保護者同伴、未就学児は要相談)

【陶芸体験】

七宝焼でアクセサリ作り
時間 10:00～11:30/13:30～15:30(時間内随時受付)
定員 各時間帯20人 料金 1,600円～/1作品

ちょっと電動ロクロ体験

時間 10:00～11:45/13:15～15:30(時間内随時受付)
定員 午前10人/午後13人 ※定員になり次第終了
※創作工房にて整理券配布(10:00～13:15～)
料金 500円(1作品/制作のみ) 焼成代別途

小さな陶器市

時間 10:00～15:00 会場 創作工房
<予約・お問い合わせ> 創作工房 TEL.0776-73-7802

【ガラス体験】

吹きガラス体験
時間 10:00/11:00/13:00/14:00/15:00
定員 各時間帯4人 料金 3,500円/1作品

ガラスアウトレット&講座生作品販売

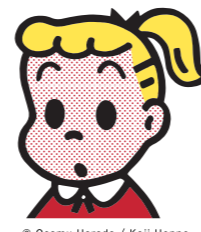
時間 10:00～14:00 会場 ガラス工房

ガラス デモンストレーション

時間 随時制作 会場 ガラス工房
<予約・お問い合わせ> ガラス工房 TEL.0776-73-7801

原田治展「かわいい」の発見

祝 入場者1万人達成!!



連日大盛況の原田治展は、8月24日(木)に入場者1万人を達成し、セレモニーを開催しました。1万人目のお客さまは、愛知県からお越しのご家族です。そのご家族には、当館の大代理理事長がオサム・グッズの記念品を贈呈しました。会期は9月24日(日)まで。



●(公財)金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800
休館日/月曜日(祝日の場合開館、翌平日休館)

沸きに沸いた湯かけまつり!!

◆8月6日(日) トリムパークかなづ
8月8日(火)、9日(水) あわら湯のまち駅前



▲トリムパークかなづでお湯をかけ合う子どもたち



▲あわら湯のまち駅前での湯かけまつり

清涼感あふれるカクテルで一杯!

◆8月19日(土)、20日(日) アフレア

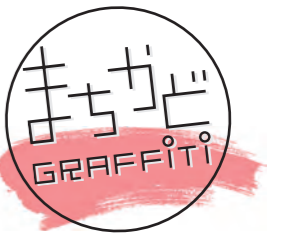


約60種類以上のカクテルが楽しめる「あわらカクテルフェス2023」が開催され、参加者は爽やかでフルーティーなカクテルを楽しんでいました。

県内のバーやカフェなどが店出し、あわら市産の果物を使った飲み物も提供されました。

会場に訪れた人は「カクテルも食べ物も充実しているので、ゆっくり時間を過ごせる」「おしゃれな飲み物がたくさんあり、ノンアルコールカクテルもあるので、また来たい」と話してくれました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した「あわらの話題」をお届けします!



▲饅頭まきで賑わう様子

今年は湯かけまつりがトリムパークかなづとあわら湯のまち駅前の2カ所で行われ、大きな賑わいとなりました。湯かけまつり実行委員会土田委員長の「お湯かけじゃあ!」の合図とともに、訪れた人たちが一斉にお湯をかけ合いました。参加した人は「こんな楽しいお祭りがあったとは知らなかった」などと満足した様子で答えてくれました。

また、4年ぶりに「民謡の夕べ」や「饅頭まき」が復活し、会場は熱気で包まれました。

茨城県下妻市の中学生ようこそ!

◆8月21日(月)、22日(火) 市役所



姉妹都市の茨城県下妻市の中学生ら30人が、1泊2日の日程で芦原青年の家に宿泊し、あわら市の生徒と教育交流を行いました。対面での教育交流は4年ぶり、歴史学習やアウトドアスポーツ体験を通じて親交を深めました。

歓迎式では、生徒を代表し下妻市東部中学校の佐々木さんが「下妻市とあわら市の関係を深く学びたい」とあいさつしました。森市長は「教育交流を通して、あわら市の魅力を十分に感じてほしい」と歓迎の言葉を述べました。